

議事要点

会議名称	令和6年度 第5回立川市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和6年12月18日（水） 午後1時30分～午後3時00分
開催場所	立川市役所 101 会議室
次第	1 立川市国民健康保険の財政健全化計画及び保険料について 2 その他
配布資料	【資料】 資料1－1 保険料改定前後 所得階層別保険料額比較（均等割・所得割変更の場合） 資料1－2 保険料改定前後 所得階層別保険料額比較（所得割のみ変更の場合） 資料2 保険料改定前後 モデルケース別保険料額比較 資料3 令和6年度 国民健康保険税（料）の賦課限度額 参考資料 保険料の計算方法 参考資料 立川市国民健康保険の現状（令和7年度仮係数版）
出席者	〔委 員〕 被保険者代表（5名） 田尻 隆子 西村 徳雄 宮本 直樹 小迫 雅信 藤本 尚子 保険医及び保険薬剤師代表（3名） 五十嵐 弥生 平田 俊吉 森谷 健一 公益代表（5名） 浅川 修一 若木 早苗 中山 ひと美 黒川 重夫 木村 辰幸 被用者保険等保険者代表（2名） 吉野 美帆 大塚 智廣 〔事務局〕 副市長 近藤 忠信 保健医療部長 浅見 知明 保険年金課長 横田 昌彦 健康づくり担当課長 佐藤 良博 財政課長 徳丸 祐豪 保険年金課業務係長 小安 裕史 保険年金課医療給付係長 熊谷 由希雄 保険年金課賦課係長 高橋 定洋 保険年金課業務係 加藤 亜美
公開及び非公開	公開
傍聴者数	1人

会議結果	1 立川市国民健康保険の財政健全化計画及び保険料について 事務局より配布資料の説明を行う。資料１－１と資料１－２は、保険料改定前後の所得階層別保険料額の比較の資料。資料１－１は均等割額と所得割額をともに引き上げた場合の試算で、資料１－２が所得割額のみを引き上げた場合の試算となっている。資料２は、保険料改定前後のモデルケース別の保険料額の比較の表。資料３は、国民健康保険料及び保険税の多摩２６市の賦課限度額一覧で、立川市は保険料を据え置いていた際に、賦課限度額も併せて据置きとしていたため、現在法定上限額と差が生じていると説明。参考資料として、保険料の計算方法や、立川市国民健康保険の現状（令和７年度仮係数版）を配布し説明。令和７年度の立川市の国民健康保険事業費納付金額は、令和６年度より仮係数版で下がっており、確定係数での納付金額は、年明けに都より示される予定。 その後、諮問に対する意見を全委員からもらった。賦課限度額について、現在の１００万から１０３万へ引き上げる事務局案については、１０６万円にすべきであるという意見も一部あったが、全体としては事務局案の１０３万円でよいという意見だった。財政健全化計画の赤字解消計画の期間を１２年から１５年に延長する事務局案については、もっと長くしたほうがいい、あるいは国の示す１２年がよいという意見もあったが、事務局案の１５年がよいという意見が多数であった。令和７年度の保険料については、保険料そのものを引き上げるべきではないという意見もあったが、それ以外は、均等割、所得割両方上げるべきだという意見であった。 議論の結果、賦課限度額については、来年度１０３万円に引き上げ、財政健全化計画については、事務局案の１５年、来年度の保険料については、所得割、均等割両方を引き上げるという形とし、次回１月１６日の運営協議会で、本文と議論の経緯などをまとめた答申案を用意し、それに基づいて最終協議、及び確認を行うこととした。 2 その他 次回の運営協議会は、令和７年１月１６日木曜日午後１時３０分から、場所は市役所３階の第一議員会議室で開催を予定していると事務局より連絡。
担当	保健医療部保険年金課 電話 042-528-4314